

株主メモ

【事業年度】	毎年11月1日から翌年10月31日まで
【定時株主総会】	毎年1月
【基準日】	毎年10月31日
【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
【株主名簿管理人事務取扱場所】	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物の送付先または連絡先】	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎0120-176-417
※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について	証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。
※特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関するお手続きのホームページURL】  
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【公告方法】  
 電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。



IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

単元未満株式の買取及び買増制度

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、当社に対して買取請求(売却する)及び買増請求(買増して1単元の株式(100株)にする)ができます。お手続きの詳細は、株主名簿管理人の事務取扱場所にお問い合わせ下さい。(証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

株主様ご優待のお知らせ

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。対象は、毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様となります。



- 100株以上 …… 2枚
- 500株以上 …… 4枚
- 1,000株以上 …… 6枚

今回お送りする株主優待券は来年(平成25年)の1月31日までご利用になれます。

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの東日本大震災により被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Report(平成22年11月1日から平成23年10月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

## 【31期の振り返り】

平成23年10月までの当連結会計年度におけるわが国の経済を振り返りますと、東日本大震災の影響により、企業収益の減少や雇用情勢が低迷するなど、依然として厳しい状況で推移しました。旅行業界における海外旅行需要につきましては、震災直後は大きく減少したものの、歴史的な円高傾向の継続や企業の夏期休暇長期化の流れなどにより、徐々に回復へと向かいました。日本政府観光局(JNTO)による平成22年11月から平成23年10月にかけての日本人出国者数(推計値)は、前年同期比約1.5%増(約24.9万人増)の約1,674万1千人と見込まれております。

このような経営環境の中で、当社グループでは、主力のセグメントであります旅行事業において、サービスと品質の向上に努めつつ、旅行需要の高まりを着実に確保することができるよう、各種施策を展開しました。主な取り組みにつきましては、本書次ページ以降にTopicsとして記載させていただいているとおりでございます。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は3,808億5百万円(前期比109.4%)、連結営業利益は94億7百万円(同149.8%)、連結経常利益は110億5百万円(同219.2%)、連結当期純利益は83億円(同245.2%)となりました。

また、当社の個別の業績につきましては、売上高は3,346億83百万円(前期比108.4%)、営業利益は62億43百万円(同124.6%)、経常利益は67億79百万円(同243.6%)、当期純利益は54億66百万円(同441.7%)となりました。

## 【32期の取り組み】

欧州の債務危機など世界経済を取り巻く環境は不透明感を増

していますが、旅行業界においては、国内におけるLCC(ローコストキャリア)の設立や海外からの新規就航、歴史的な円高傾向の継続やロンドンオリンピックなどの世界的イベント開催を背景に海外旅行需要は緩やかながらも増加基調、また、震災以降停滞しておりました訪日旅行や国内旅行市場も回復に向けて堅調に推移すると予想されます。一方で、顧客接点の多様化や直販化が進む航空会社も含めた業界内競争の激化など市場の変化を見据えた対応がより必要となると予想されます。

このような環境の中、当社グループは主力セグメントであります旅行事業において、安全と安心、サービスと品質の向上に努めつつ、新たに導入した航空券検索システムのスマートフォンでの多言語化や、初の公式旅行代理店となったロンドンオリンピックの観戦ツアーなど旬な素材の商品化、チャーター便の積極活用など、顧客ニーズに敏感に対応し、世界市場において独自性ある商品とサービスを創出し、日本発、海外発の旅行事業を拡大、発展させていくための各種施策にスピーディーに取り組みます。また、引き続き、各販売チャネルの特性を意識した店舗展開、媒体特性を意識した需要喚起のためのプロモーションなど、生産性、効率性を更に意識した展開も進め、業績の更なる向上を図って参ります。

平成24年に開業20周年を迎えますハウステンボス株式会社は、今後もエンターテイメントやイベントに創意工夫を凝らし、様々な新しい取り組みを進めて参ります。「東洋一から世界へ。"820万球のイルミネーション"光の王国」の開催(平成23年11月19日～平成24年3月4日)や日本初の「白い観覧車」のオープン(平成23年11月25日)、20周年を記念した各種イベントの実施など、新たな展開を進めて参ります。また、平成24年初春には、HTBクルーズ株式会社が「長崎～上海航路」の就航を予定しており、中国からの新たな観光需要の開拓を進めていく計画です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年1月

代表取締役社長 平林 朗



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (平成23年10月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>102,810</b>	<b>流動負債</b>	<b>65,509</b>
現金及び預金	63,894	営業未払金	16,455
売掛金	8,295	旅行前受金	34,740
営業未収入金	4,606	その他	14,313
旅行前払金	15,536	<b>固定負債</b>	<b>7,918</b>
その他	10,477	<b>負債合計</b>	<b>73,428</b>
<b>固定資産</b>	<b>36,176</b>	<b>純資産の部</b>	
有形固定資産	12,383	<b>株主資本</b>	<b>59,801</b>
無形固定資産	2,937	資本金	6,882
投資その他の資産	20,855	資本剰余金	7,782
		利益剰余金	47,658
		自己株式	△2,522
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,182</b>
		<b>少数株主持分</b>	<b>2,605</b>
<b>繰延資産</b>	<b>31</b>	<b>純資産合計</b>	<b>65,589</b>
<b>資産合計</b>	<b>139,018</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>139,018</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成22年11月1日から平成23年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	△358
現金及び現金同等物の減少額	△1,884
現金及び現金同等物の期首残高	46,340
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	414
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△166
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>44,703</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (平成22年11月1日から平成23年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	380,805
売上原価	310,238
売上総利益	70,566
販売費及び一般管理費	61,158
営業利益	9,407
営業外収益	1,800
営業外費用	202
経常利益	11,005
特別利益	3,280
特別損失	700
税金等調整前当期純利益	13,584
法人税等	4,626
少数株主損益調整前当期純利益	8,958
少数株主利益	658
当期純利益	8,300

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## インターネットを利用した旅行販売の取り組み



◀ HP  
http://www.his-j.com  
(トップページイメージ)



◀ HP  
http://his-vacation.com  
(トップページイメージ)



## 法人・団体旅行の取り組み

法人様ごとに出張データの管理が可能な法人様向けの専用予約システム「SFIDA(スフィダ)」の運用を本格的に開始し(平成22年12月)、大企業や官公庁を中心に営業展開を強化しました。また、国内では新たな需要が見込める地域への営業拠点の拡充(大阪・広島・九州など)や、海外では法人営業の海外ネットワーク確立へ向けた営業拠点や人員の整備などを実施しました(上海・バンコク)。さらには、2012年ロンドンオリンピック初の公式代理店となったことによる観戦ツアーの発表を行うなど、新たなお客様層の開拓にも注力しました。



▲ ロンドンオリンピック観戦ツアー



平成22年12月に、当社のホームページを、お客様にとってわかりやすく利用しやすいサイトをテーマに、全面リニューアルしました。また、海外ホテルやオプションツアーなどの販売サイト「H.I.S.VACATION」の管理業務を海外拠点へ移管し、海外からの商品直販体制を整え、順調にご利用者数を伸ばすことができました。さらには、全世界発着の航空運賃や空席の検索が可能となる航空券販売の新システムを平成23年7月にリリースし、お客様の利便性向上や競合サイトとの差別化を図り、航空券販売のいっそうの強化を図りました。このようにパソコンやモバイル、スマートフォンを活用した自動予約機能や情報提供機能の強化を引き続き推進し、インターネットを利用した旅行販売は全般的に好調に推移しました。

## 店舗戦略



◀ 海外ウェディングパンフレット

## 新たな旅行商品やサービスの展開

成田からのタイ・ビジネスエアーやイタリア・メリディアーナ・フライ、関空からのハワイアン航空など、当社独自の旅行商品の提供ができるよう日本各地区からチャーター便の積極的な展開を実施しました。特にビジネスエアーにつきましては、春と夏の期間におきまして、成田とバンコク間の毎日運航を行い、繁忙期の旅行需要創出に努めました。また、当社オンライン予約サイトにて海外旅行商品をご購入いただいたお客様向けに「Pontaポイント」が貯まるサービスの開始やH.I.S.クーポンを利用した新たなプロモーションの展開などを実施しました。

一部店舗におきまして、現金自動入金機やCTI(コンピュータと電話を統合する技術)を導入し、生産性を重視した新たなスタイルの展開を実施しました。また、お客様の利便性向上を考えた営業時間の拡大(モーニング、ナイト)なども行いました。さらには、店舗網の再配置や海外ウェディングを専門に扱う店舗の新規オープン(池袋・静岡・金沢・札幌)を行うなど、販売体制の一層の強化を図りました。



▲ ビジネスエアー

◀ 機内イメージ



◀ メリディアーナ・フライ

## 海外展開

南米初の拠点(ブラジル・サンパウロ)や海外初の法人団体専門店(タイ・バンコク)など、計10拠点を新規開設し、拡充を図りました。また、アジア圏中心に、日本人以外のお客様に向けた海外現地発の旅行商品の販売強化も引き続き行いました。さらには、海外拠点間での送受客業務や他旅行会社からの受客業務などの強化も推し進めました。



▲ サンパウロ支店

## ハウステンボス(テーマパーク事業)

テーマパーク事業を運営するハウステンボス株式会社は、東日本大震災の影響により、国内旅行事業と連携しながら、営業や宣伝活動の重点を西日本中心へと早めに移行させました。平成23年4月運航スタートの「ONE PIECE“サウザンド・サニー号”inハウステンボス」、夏開催の「ハウステンボス 日本一の元気祭り」など、新たなイベントやエンターテインメントがご好評いただき、順調に入場者数が増加した結果、売上高133億74百万円、営業利益9億89百万円となり、開業以来初の営業黒字を達成しました。また、平成23年1月にHTBクルーズ株式会社を設立し、平成24年初春の「長崎～上海航路」就航に向けた準備も進めてまいりました。



▲ 日本一の元気祭り



▲ HTBクルーズ

◀ サウザンド・サニー号

©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



◀ ウォーターマークホテル&スパゴールドコースト



▲ ウォーターマークホテル長崎・ハウステンボス



▲ ウォーターマークホテル札幌

## ホテル事業の展開

オーストラリアのゴールドコーストとブリスベン、札幌の3ホテルに加えまして、平成23年7月には、ハウステンボス内に英語を共用語とする「ウォーターマークホテル長崎・ハウステンボス」をオープンしました。今後も各ホテル共に、お客様満足や収益性の向上に努めてまいります。また、人材の育成にも注力し、快適な宿泊サービスを提供できる体制を整えてまいります。

(平成23年10月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数.....88,551,450 株  
 発行済株式の総数.....34,261,468 株  
 株 主 数.....9,272 名

## 大株主の状況(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	9,596	29.59
シービーニューヨーク オービスエスアイシーアーヴィー 有限会社 秀インター	3,350	10.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,690	5.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,390	4.28
全国共済農業協同組合連合会	691	2.13
澤田 まゆみ	690	2.12
エイチ・アイ・エス従業員持株会	516	1.59
行方 一正	510	1.57
ザ チェース マンハッタン バンク エヌイー ロンドン エイシーシーエス レンディング オムコバ アカウソ	459	1.41

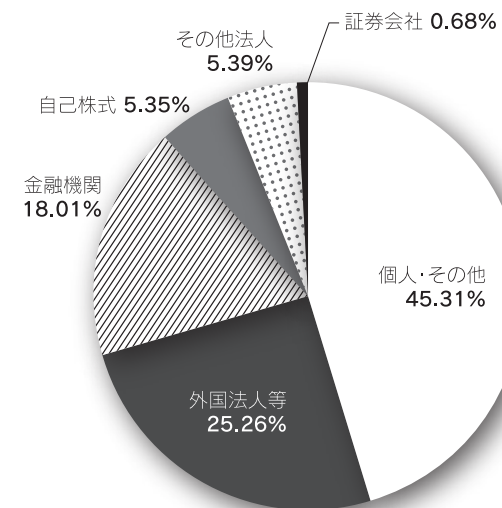
(注)当社は自己株式(1,834,108株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社概要

商 号	株式会社 <b>エイチ・アイ・エス</b>
英 文 社 名	H.I.S.Co.,Ltd.
本 店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設 立	昭和55年12月19日
資 本 金	68億82百万円
従 業 員 数	6,265名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 266店舗/海外 41ヶ国 92都市 115拠点 (平成23年11月現在)
ホームページ	<a href="http://www.his-j.com">http://www.his-j.com</a>

## 株式分布状況

所有者別株式分布状況



## 会社役員

代表取締役会長	澤 田 秀 雄
代表取締役社長	平 林 朗
常 務 取 締 役	楠 原 成 基
取 締 役	高 木 潔
取 締 役	和 田 光
取 締 役	中 森 達 也
取 締 役 相 談 役	行 方 一 正
取 締 役	平 田 雅 彦
常 勤 監 査 役	三 上 幹 夫
監 査 役	梅 田 常 和
監 査 役	山 本 克

(注)取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。  
 監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。